

品川支部

令和五年12月1日発行 12月
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel. 3442-7075

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

第九十七回 青年会総会が賑やかに

11月25日「第九十七回天理教青年会総会」が本部中庭で開催されました。

「心澄ます毎日を」を大会テーマに、通常の形で催されました
夕方からは後夜祭で各分会の多くの模擬店で美味しさの競演です
久しぶりの夜のパレードも度肝を抜く大勢のブレーキングダンスでオープニング、最後の花火まで青年会の力強さを見せた大会になりました
26日は日曜日、久しぶりに溢れる以前の月次祭の賑わいがありました



本部中庭にて



東西泉水プール前での模擬店の後、趣向を凝らした、ダンス、本芝JB、Semilla親里、音研、天高BT、大学マーチングバンドのパレード、冬空に花火で締めくり、楽しさに寒さもギリギリ耐えられました

☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

十二月九日(土)午後六時

都南分教会にて

・支部例会

十二月は二十一日、日本橋大教会で

納めの例会となります

大広間での昼食を用意頂いておりますので
多数の方のご参加をお待ちしています

※二頁に詳細掲載

教区百四十年祭活動「みんなでひのきしん」

神名流し、ゴミ拾いひのきしん

一日大井町駅前にて十時から

在宅センターひのきしん

今月は年末で有りません

・教区ひのきしん

今月は本品組で五日と九日の二回です
よろしくお願い致します

☆教務支庁からのお知らせ

・来年の本部おせちは制限が緩和

一月五日(金)から七日(日)

時間は朝十時から十三時まで

立教百八十七年のおせちは、制限が緩和され

従来のように、おかわり等も自由にして頂けること

・婦人会から

第一回目ようばく一斉活動日にご参加頂きまして有難う御座いました
支部婦人会では特に品川に嫁いでこられた方に気軽に参加頂けるよう楽しい集まりを企画しています、お知らせの際は是非機会を作ってご参加下さい

・青年会から

十一月二十五日四年ぶりの青年会総会、夕勤め後には泉水プール前広場で後夜祭が催されました
寒空の中でも熱気溢れる大会になりました

・布教部から

立教百八十七年の「布教の家」の募集が一月二十五日から始まります
尚、新潟寮は今回募集見送りです

・表彰者紹介

本品分教会中澤光郎氏は品川区の「青少年対策地区委員」二十年の特別表彰を受けました



永年の近隣の学校等と協力し地域活動に貢献されたことに敬意を表します

拠点教会	6日号	13日号	20日号	時報手配り十二月予定
日本橋	直 送	手 配 り	手 配 り	十二月は二十日号が最終日となります。 正月三日の新年号は全て直送、手配りは十一日号からスタートです
本 荏	直 送	手 配 り	手 配 り	
南 泰	手 配 り	手 配 り	手 配 り	
三ツ木	直 送	直 送	手 配 り	
水豊田	手 配 り	直 送	直 送	

おさづけ
取り次ぎの旬



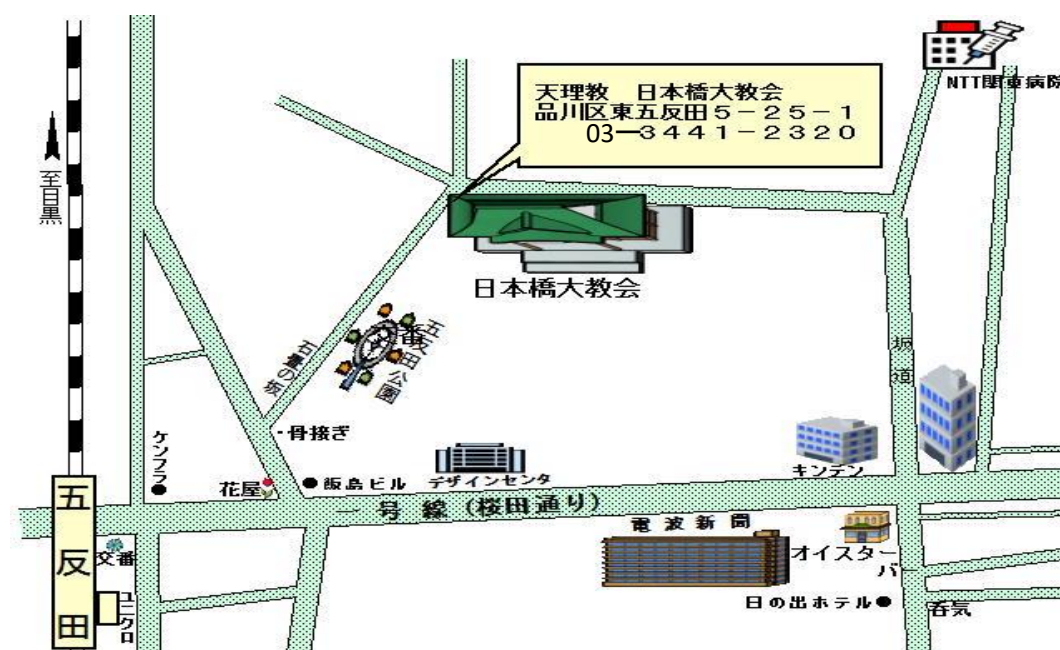
日本橋大教会長
で、世話人の今村英一本部員
の中で、教祖百四十年祭に
向かう今の旬はおたすけが大
切であり、おさづけの取り次
ぎを心掛けるようにとのお話
がありました。

そこで今回は、おさづけで
最近思ったことを書かせて頂き
ます。

今年になってコロナの規制がな
くなり、日本橋大教会では、
月次祭後と夕勤め後に、おさ
づけの取り次ぎを始めました。
参拝者同士で話し合い、身上
の方に取次ぐのですが、私は
左足首が悪く、よく取り次い
でもらっています。成人が鈍く、
足によく身上を頂くのですが、
数年前から左足のくるぶしの
あたりが腫れて、正座をする
と痛くなってきました。

(品川区東五反田5-25-1)

内容 座りづとめ よろづよ 十二下目
東京教区、支部連絡事項
当該 中臺大教会長挨拶
昼食を用意頂いてます
***支部内教友の方対象 (白足袋ハッピー着用)**



皆さんの真実で、身上が段
々良くなってきたのです。
私は今まで、人におさづけを
取り次ぐことは心がけていま
したが、人から取り次いでも
らうことには積極的ではあり
ませんでした。
自分がおたすけをしていれば、
自分が人におさづけを取り次
いでいけば、自分の身上は親神
様が御守護くださると思っ
ていたからです。
しかし、それはちょっと間違っ
ていました。

おさづけは教祖に直接息を
かけて頂くことであり、その
お働きを頂くには人から取り
次いでもらわなければだめな
のだと、今更ながら実感して
います。

そうして、人におさづけを取
り次ぐと共に、取り次いでも
らうことも心掛けるようにな
りました。それが相手の方の
ためにもなるのです。
取り次いで頂く中にも、これ
は効いた気がすると思う時が
あります。

それは、長年積み深く、た
んのうしてした方は、こうの
うの理を通して来られた方の
おさづけです。
そうした方は、こうのうの
理を積んでおられるのだなど
思います。

おさづけは本当に有難いも
のです。
日々こうのうの理を積みな
がら、おさづけを取り次ぐ
中に、私達の道は開けてくる
のです。

この年祭活動の機会に、積
極的に取り次がせてもらい、
また、身上がありましたら、
ようばくの人に声をかけて、
取り次いでもらいたいです。

中臺健児



年越し